

「環境工学研究フォーラム講演集」原稿作成要領  
(自由投稿発表セッションおよび環境技術・プロジェクトセッション用)

1. 講演集は、全体の統一を図るため、著者自身が別添の講演集用原稿作成例に従い、ワープロソフト等を利用して作成する必要があります。なお、原稿は、最終的にB5版に縮小してオフセット印刷されることに留意してください。
2. 原稿作成の概要（詳細は、見本を必ず参照すること）
  - (1) 白黒印刷にのみ対応していることを留意下さい。
  - (2) 用紙の設定はA4にし、A4版上質紙へ印刷してください。
  - (3) 余白は、上方が19mm、下方が24mm、左右がともに20mmに指定してください。ただし、最初のページのタイトル部分（タイトルから電子メールアドレスまで）は、左右マージンがそれぞれ30mmとなるようにしてください。
  - (4) 表題は、20ptのゴチック体で記載しますが、その第一行目には、20pt文字で4字分以上のスペースを必ず確保してください（後で講演番号を入れます）。
  - (5) 著者が連名の場合、講演者名の頭に印を必ず付けてください。また、論文の連絡先著者の右肩に\*を付け、見本のようにその人の電子メールアドレスを所属掲載欄の後に記載すること。
  - (6) タイトル部分は、横1段組ですが、本文は2段組で、10ptの明朝体を用い、1段は25字（字送り9.3pt）×48行（行送り15pt）を基本とします。これより小さな文字を使用することは、絶対に避けてください。
  - (7) 上記以外の体裁は、講演集用原稿作成例を参照してください。その中に詳細が記載されています。なお、英文で原稿を作成する場合には、環境工学研究論文集用の英文原稿の見本に準じてください（但し、アブストラクトは不要）。講演集用原稿作成例は環境工学委員会ホームページ(<http://www.jsce.or.jp/committee/eec/index.html>)からダウンロードできます。
  - (8) 体裁が作成例と大きく異なる場合には、修正をして頂く場合がありますので留意ください。
3. 原稿のページ数は、ひとつの講演につき、3ページ以内とします。3ページを超えた原稿は受理しません。
4. 印刷体原稿を提出する際には、原稿の右上の余白部分に第一著者名とページ数（そのページ/全体ページのように分数で表記）を鉛筆で記入してください。
5. 講演集は、贈呈しませんのでご了承ください。